

高校に看護科5年一貫制

浜松修学舎

医療志す生徒新たな道

浜松修学舎高(浜松市中区)が2022年度から、5年一貫制の看護科を設置する計画を進めている。実現すれば県内初。看護師を志す生徒の進路として新たな選択肢を提供し、地域医療の担い手育成を目指す。



主な看護師養成課程

県内初、新設を計画

看護科は1学年の定員70人の予定。通常の高校生活に当たる入学後3年間は、普通教科と看護の基礎科目を履修し、後半2年間の専攻科では医療機関などでの実習などを増やしながら、より専門的な知識を学ぶ。通常の高校卒業資格に加え、看護師の国家試験の受験資格を得られる。

同校によると、5年一貫制の看護科は一般の高校卒業後に4年制大学などへ進学して看護師を目指すより早く資格の取得が可能で、早い段階から看護師を進路に決めていた生徒に適している。同校では普通教科にも看護の

仕事で役立つ要素を取り入れるなど、5年一貫制ならではのカリキュラムを構想する。校内で所定の実習などを行えるように校舎の改修も進める。今後、文部科学省から指定を得られれば正式に設置が決定する。

近年は医療機関だけでなく、高齢者施設でも需要が増えるなど、看護師の活躍の場は増えている。木俣安弘理事長は「地域で活躍できる人材の育成に努めていきたい」と話す。

県内では五つの大学、看護系学部や学科、

△メモ▽看護師を目指すには、5年一貫制看護教育のほか、高校卒業後に看護系の4年制大学や短期大学、専門学校に入学するなど複数の選択肢がある。5年一貫制は2002年度に導入された。文部科学省産業教育振興室によると、20年4月時点で全国79校が設置しているという。



冷え込む「雨水」 静岡の公園、霜柱

18日は二十四節気の「雨水」。草木が芽生え、農耕の準備を始める目安とされているが、県内は厳しく冷え込んだ。気象庁によると、同日朝の各地の最低気温は静岡0.1度、浜松氷点下1度、三島氷点下0.5度と平年よりも1.9～3.7度ほど低くなった。

静岡市葵区の駿府城公園では、花壇や芝生に霜柱が現れ、長い所で3～4センチに達した。普段から犬の散歩に訪れている人々は、久しぶりの霜柱に驚いた様子だった。(写真部・田中秀樹)

厳しく冷え込み、駿府城公園には霜柱が現れた。18日午前6時半ごろ、静岡市葵区

公・私立の専門学校などで学ぶこともできる。21年度には東都大が沼津市に看護学科の開設を予定。(浜松総局・草茅出)

同僚男性暴行死被告が無罪主張
地裁沼津支部初公判
伊豆の国市の工事現場で同僚男性に暴行を加え、死亡させたとして傷害致死の罪に問われた同市寺家、建築作業員白井翼被告(32)の裁判員裁判の初公判が18日、静岡地裁沼津支部(菱田泰信裁判長)で開かれた。白井被告